

## CNN が警告：キリスト教徒は「思いや祈り」で人に迷惑 をかけるな

この極左メディアは、無神論者は祈りを迷惑として受け取ると警告

【訳者注】これは面白い話で、物凄い「研究」がなされたものである。前の記事と同じく、注意してよく読まれたい。私がそこで言ったこと——有神論者の宇宙論と、無神論者の宇宙論の、馬鹿げた必死の戦いは、学問上の争いなどでなく、神とサタンの戦いであること——。その同じことが、ここでは、有神論者と、無神論者の間で、「思いと祈り」を通じて起こっている。ここで唯物論者は、「祈り」などに無関心で、そんなものは通じないはずなのに、彼らは非常に敏感に、それに感応し、しかも本来の祈りの効果とは、逆の効果を与えられている。すなわち彼らは、祈ってくれた相手に「反感」をもつという、逆の現象を起こしている。

これは明らかに、神の起こした奇術と考えるべきである。すなわち神が起こした人間覚醒のための一工夫である。もし、自分を祈ってくれた人に敵愾心が起こるのなら、それはお前の間違った宇宙観が原因なのだ。この宇宙は祈れば、その通りに心に感ずるようになってきている。物質や反感や憎しみがその原理ではない… という神のメッセージであろう。ここで言っている「祈りに対する敵意」の「敵意ある」(adverse) はサタン(adversary)を思わせ、またダーウィニズムの基本原則である「生きるための闘争」を思わせる。我々は長年にわたって、巨大な神の愛であるもの（最大のものは宇宙的微調整）を、憎しみの原理で考えてきた。Cf.「瞑想の効果」[http://www.dcsociety.org/2012/info2012/140226\\_2.pdf](http://www.dcsociety.org/2012/info2012/140226_2.pdf)

Jay Greenberg. @NeonNettle

September 18, 2019



CNN は、クリスチャンは、災害のときなど、「思いや祈り」を遠慮すべきだ主張——迷妄を押し通す無神論者たち

極左のニュース・ネットワーク CNN は、災害の起こったときなど、キリスト教徒は「思いや祈り」を遠慮せよ、なぜなら無神論者や不可知論者がそれを迷惑に感ずるからだ、と忠告した。

7日の記事で、CNN は、非宗教的な人々は、大量射殺やハリケーンのような自然災害の、大きな事件があったとき、自分たちのために人々が祈ってくれることに対して、ネガティブな反応を起こすと論じた。

このリベラルな放送局は、ある最近の研究を引用して、「無神論者や不可知論者の中には、カネを払ってでも」、クリスチャンが自分の方に、祈りを向けるのをやめさせたいと思う人々がいるのだ、と言明した。

引用されたこの研究は、月曜日、「科学ナショナル・アカデミー」の論文集に公表された。

この論文の共同著者である、ワイオミング大学の経済学者 Linda Thunstrom は、災害のあとで、人に自分の思いや祈りを送るのは、「考え物」だと言った。

Thunstrom は、このジェスチャーは「無意味」であると説明し、人々に「小規模な攻撃反応 (micro-aggression)」を起こさせる可能性がある」と主張している。



この研究は、ノースカロライナの 400 人の住民とのやり取りに基づいたもので、2018 年のハリケーン「フロレンス」の大破壊のあとで実施されたものである。

その結果わかったことは、無神論者と不可知論者は、「祈りに対し敵意をもち (prayer-adverse)」カネを払ってでも、祈りを受けるのを避けたいと思い、特に「キリスト教徒から」の思いや祈りを受けるのを、嫌っていることだった。

非宗教的な人々は、「ある僧侶からの祈りを避けるために、1.66ドルほど払い、ある見知らぬキリスト教徒からの祈りを避けるのには、その倍額以上の3.54ドルを払いたかった」と言った——CNNによれば。(訳者：この金額の意味は不明)

「その最終の結果は驚くべきものだ。なぜなら、無神論者や不可知論者は、自分のために祈ってくれる人々に、当然、無関心だろうと予想されるからだ——そんなジェスチャーは信じないと言うなら、なぜそれを気にするのだろうか？」と、Thunstromは言った。

「しかし結果はそうではなかった。無神論者と不可知論者は祈りを避けようとした」と彼女は言い、「見知らぬキリスト教徒からの祈りを受けないためには」、カネを払おうとしたのだ、と言った。

「だから災難が起こった後で、思いや祈りを送るときには、誰が相手であるかを考えることが重要になってくる」と彼女は言った。



キリスト教徒は、悲劇の起こったときに、思いや祈りを送ることによって、逆に攻撃を受けることが、だんだん多くなった

自分のために言われた祈りの言葉に対して、無神論者や不可知論者が覚える感情的反感の他に、そのマイナス面を言う人々は、こうも言っている：——「これらのジェスチャーは無意味であるだけでなく、自然や社会の災害を軽減しようとする物的な援助や、構造的な改革に水をかけることがある。」

ある人々は、「私はあなたのために祈ります」という言葉は、「小規模な攻撃反応」を引き起こすもののリストに入っている、と言っている。

ということはすなわち、その言い方が、「敵愾心ある言葉、相手を貶める、もしくは、人に対するネガティブな謗りや軽蔑を、示唆する言葉だ」ということである。

ある無神論者はこう言っている——「誠実な意味だと言って〈あなたのために祈ります〉と言われることは、「性的に下劣なコメントを、ほめ言葉だったと言われるような、感情を引き出すものだ。」

——以上

**[訳者付記]** すべてが同じパターンを用いて正しい方向に向かっている。神は曲がった線を用いてまっすぐを書く。この不思議な転倒の心理現象には、おそらく人の気づかない悪霊の憑依現象があるだろう。これが世界に蔓延していることは、アイルランドのある神父が、次々に憑依の治療を求めて飛び込んでくる人々に対処できず、エクソシストの増産を叫んだ事実からも伺える。<http://www.dcsociety.org/2012/info2012/180202.pdf> インテリジェント・デザインを許すまいとする、狂気じみた抵抗も、「神の用いる曲がった線」と考えてよいだろう。